



株式会社クワザワ

8104 東証第二部 札証

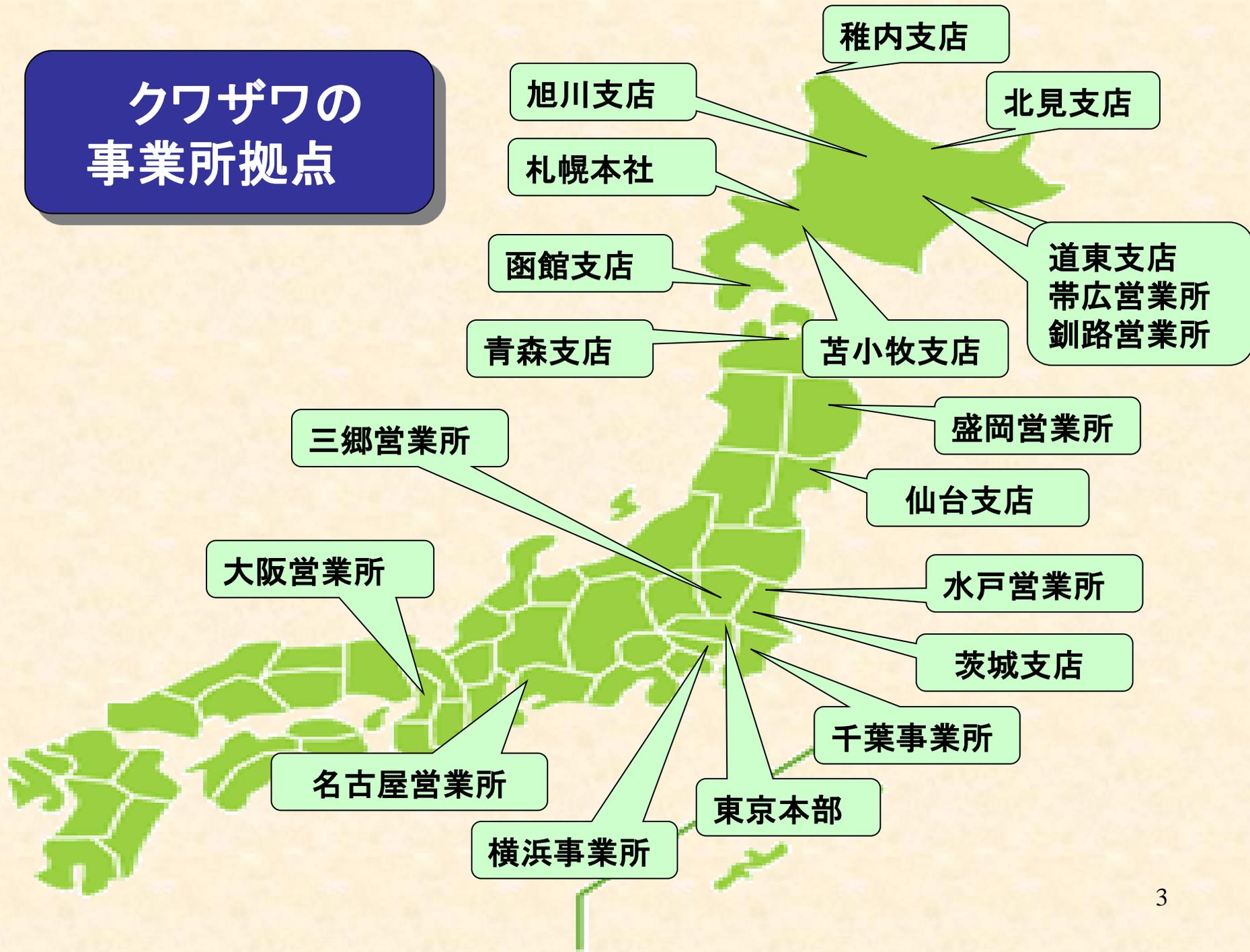


会社説明会：2018年5月¹

会 社 概 要

商 号	株式会社クワザワ
本 社	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
設 立	1951年2月1日(創業1933年)
資 本 金	4億1,736万円
代 表 者	代表取締役社長 桑澤 嘉英
事 業 内 容	建設資材の販売および建設工事の施工
発行済株式総数	8,347,248株
証 券 コード	8104 (東証2部、札証)
売 買 単 位	100株
グループ従業員数	1,077名 (2018年3月31日現在)

クワザワの 事業所拠点



クワザワグループ

工事施工

- クワザワ工業
- 住まいのクワザワ
- 丸三商事
- 原木屋セーフティステップ

資材販売

- 北翔建材
- 光和
- 日桑建材
- 原木屋産業

加工販売

- クワザワサッシ工業

クワザワ

運輸

- 山光運輸
- 札幌アサノ運輸
- サツイチ

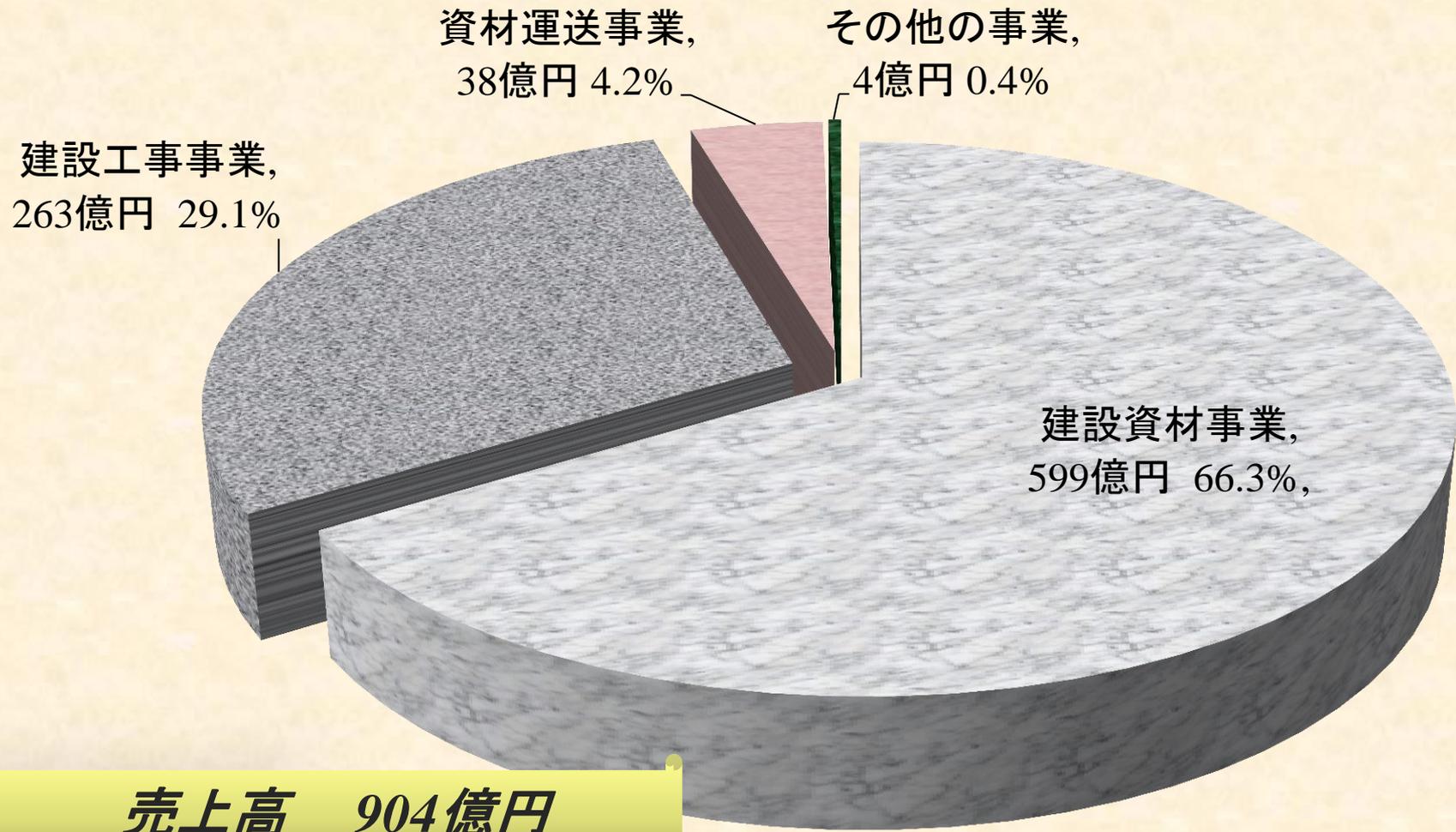
製造

- 恵庭アサノコンクリート
- 和寒コンクリート
- ニッケー
- 余市レミコン

サービス

- クワザワエージェンシー
- 東日本自工
- 和光クリーン

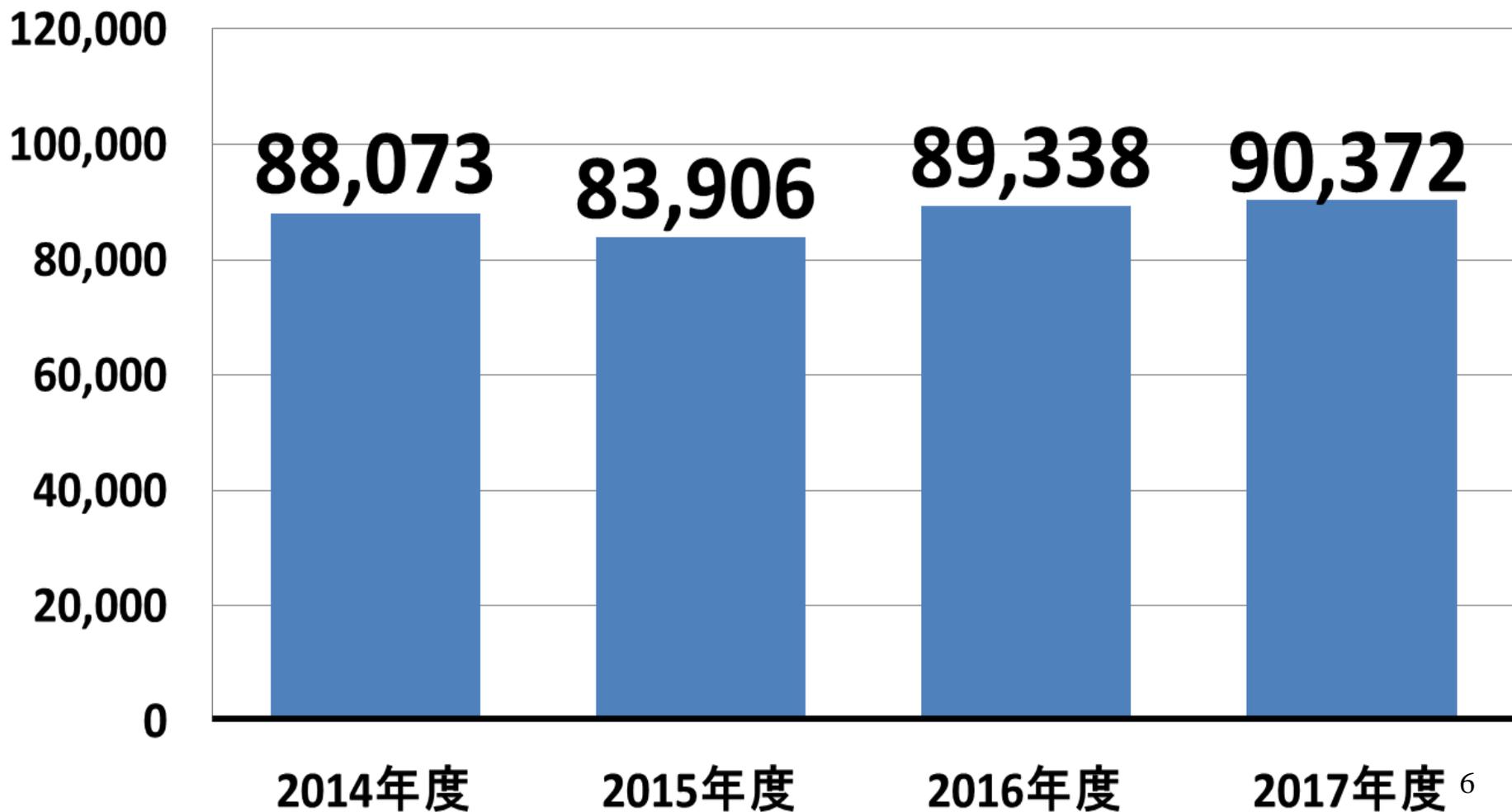
品目別売上高(2017年度・連結)



業績の推移(連結)

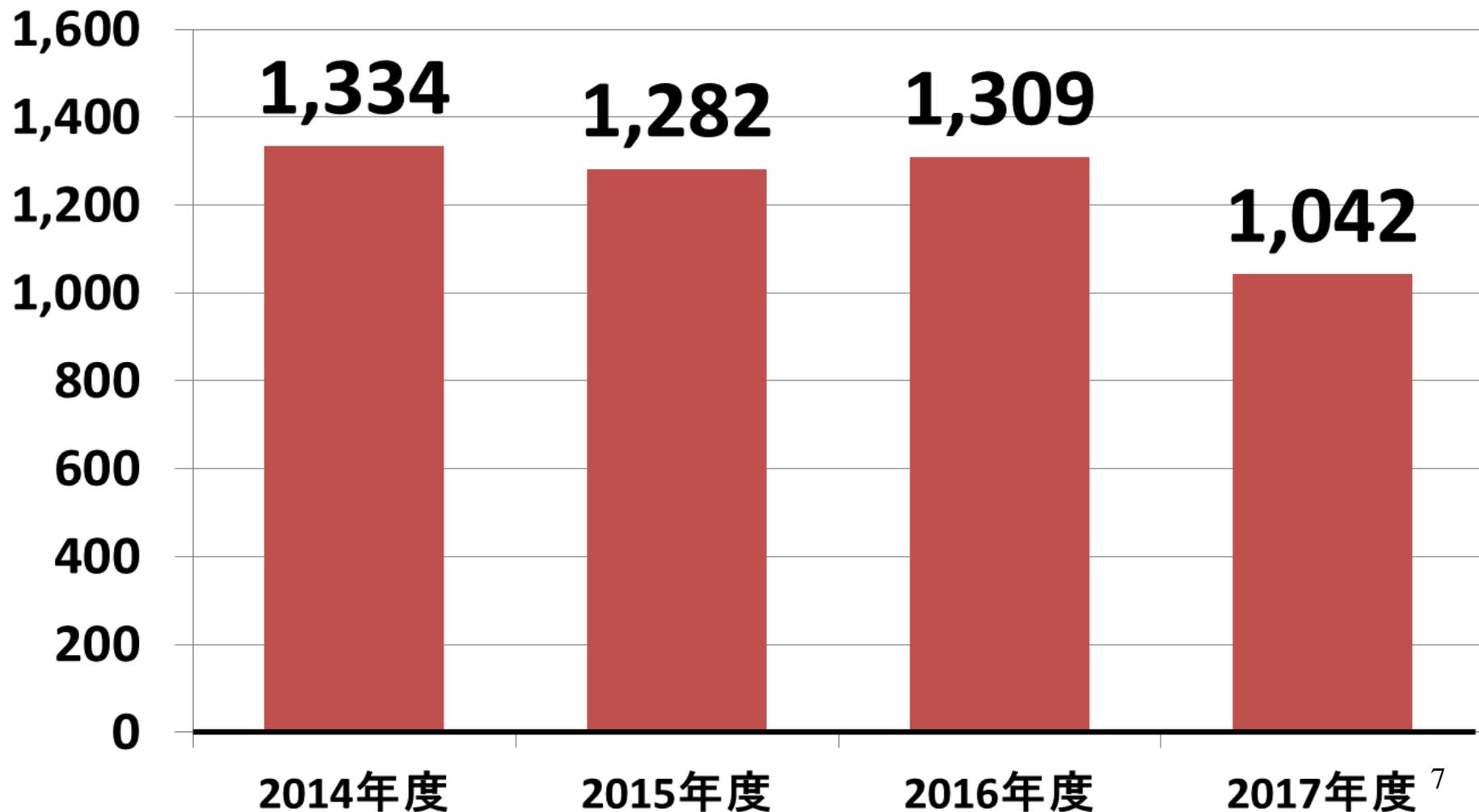
売上

(百万円)



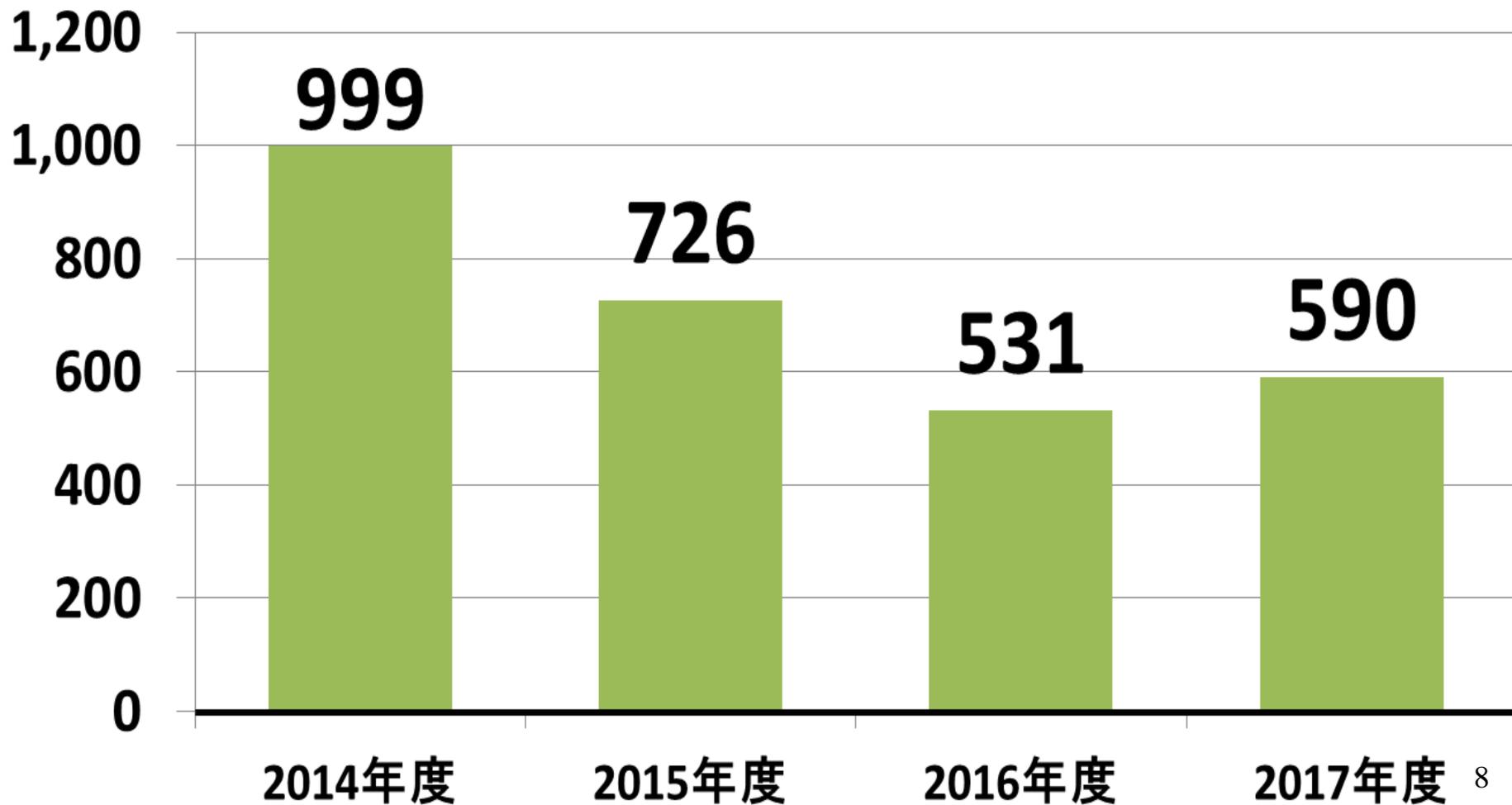
経常利益

(百万円)



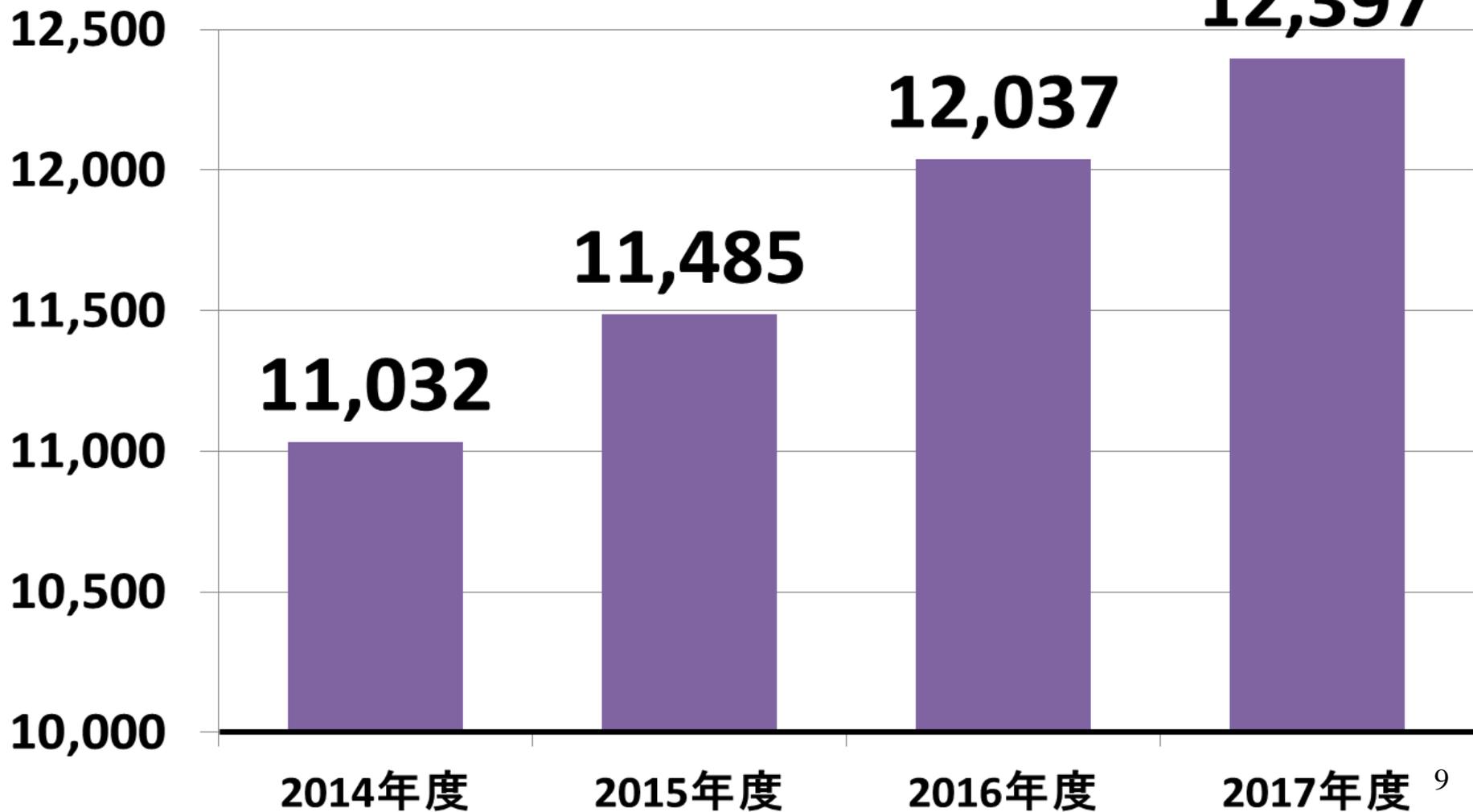
当期利益

(百万円)

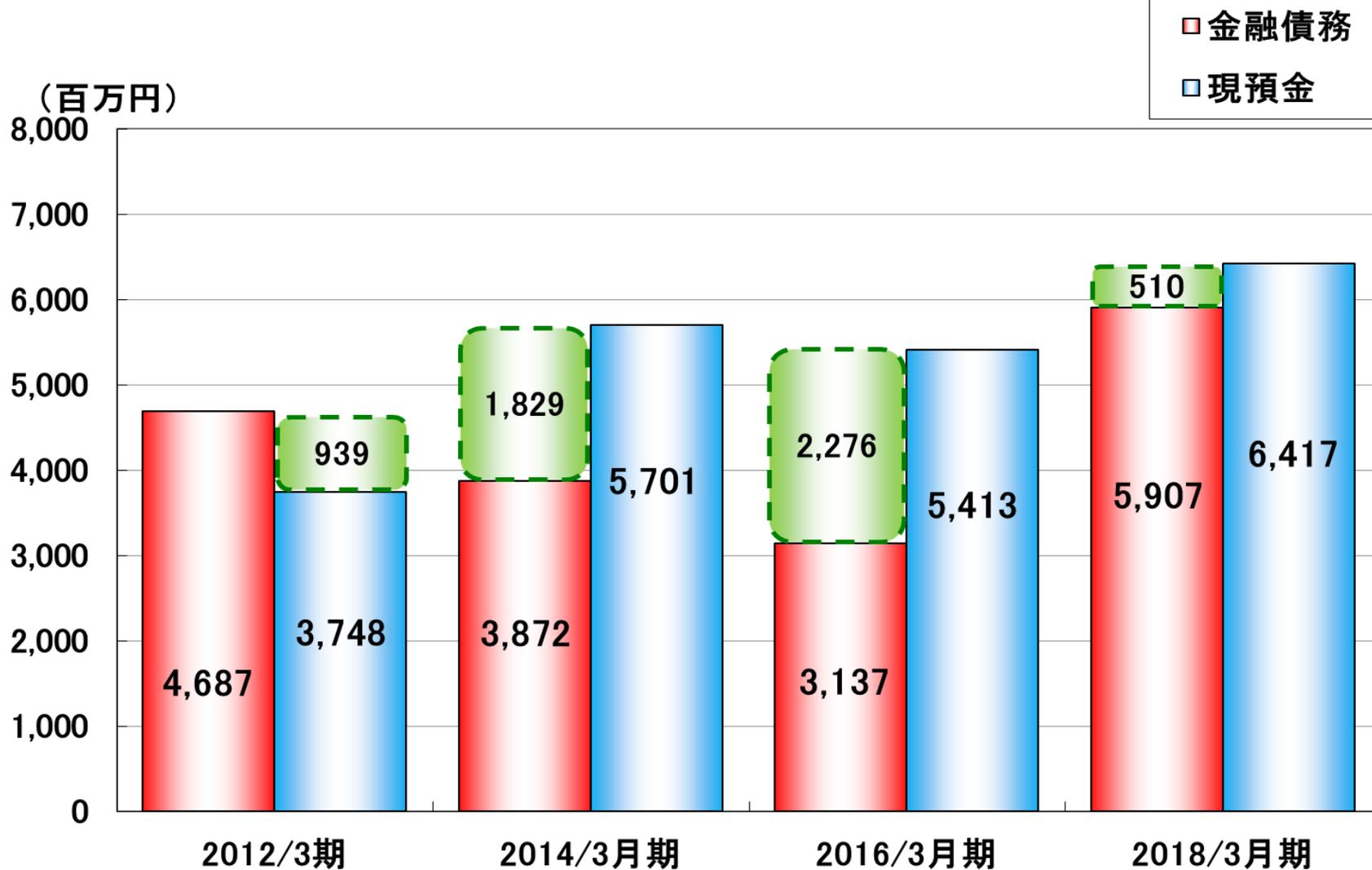


純資産

(百万円)



金融債務・現預金の推移(連結)



* ネットキャッシュ: (現金及び預金+短期保有有価証券)-(長期短期借入金+社債等)にて算出

2018年度業績予想(連結)

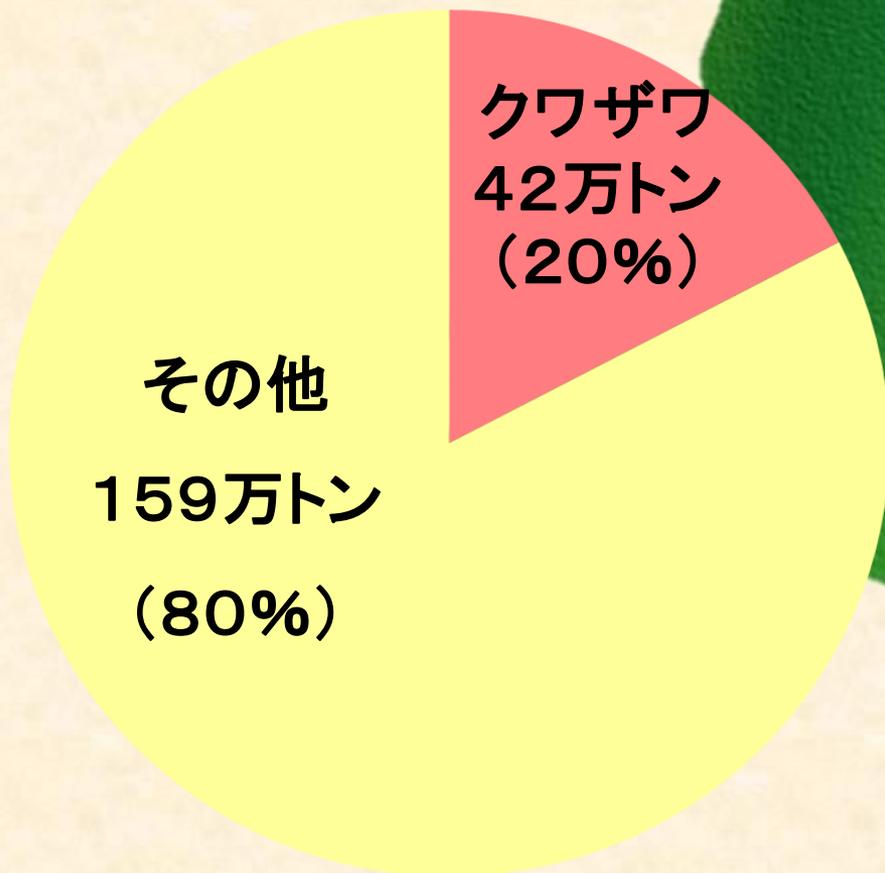
(単位:百万円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (予想)	前年同期比
売上高	90,372	91,000	+0.7%
営業利益	905	970	+7.2%
経常利益	1,042	1,050	+0.7%
当期利益	590	660	+11.9%

セメント・生コン事業(2017年度)

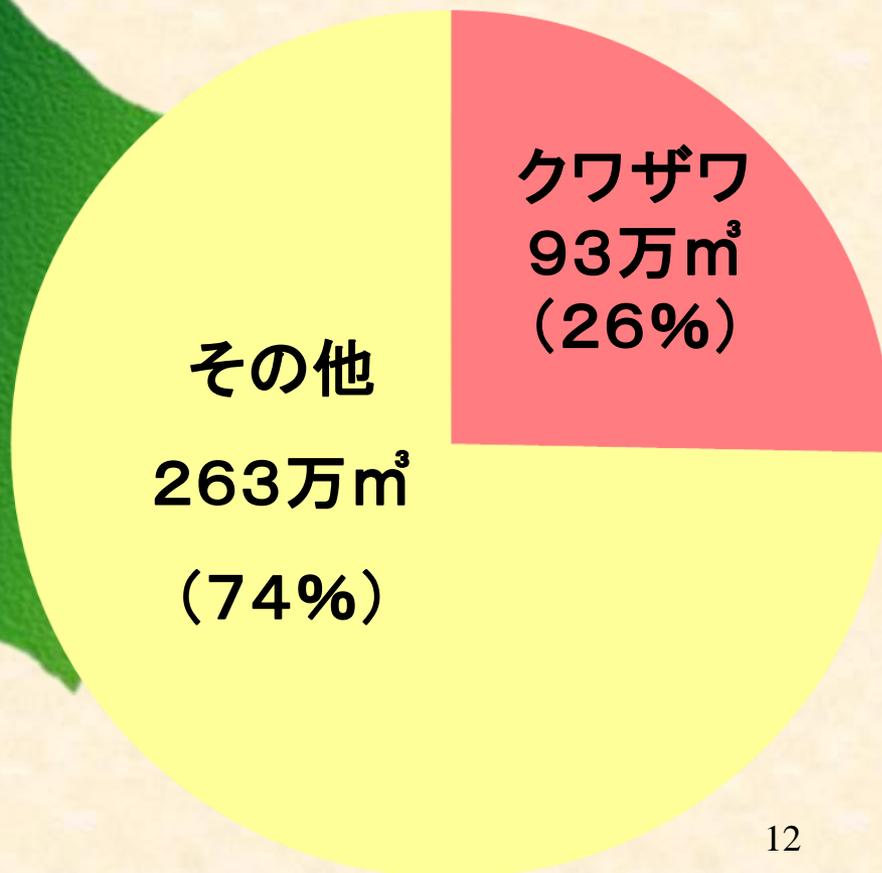
北海道のセメント販売量

201万トン



北海道の生コン販売量

356万 m^3



セメント・生コン事業

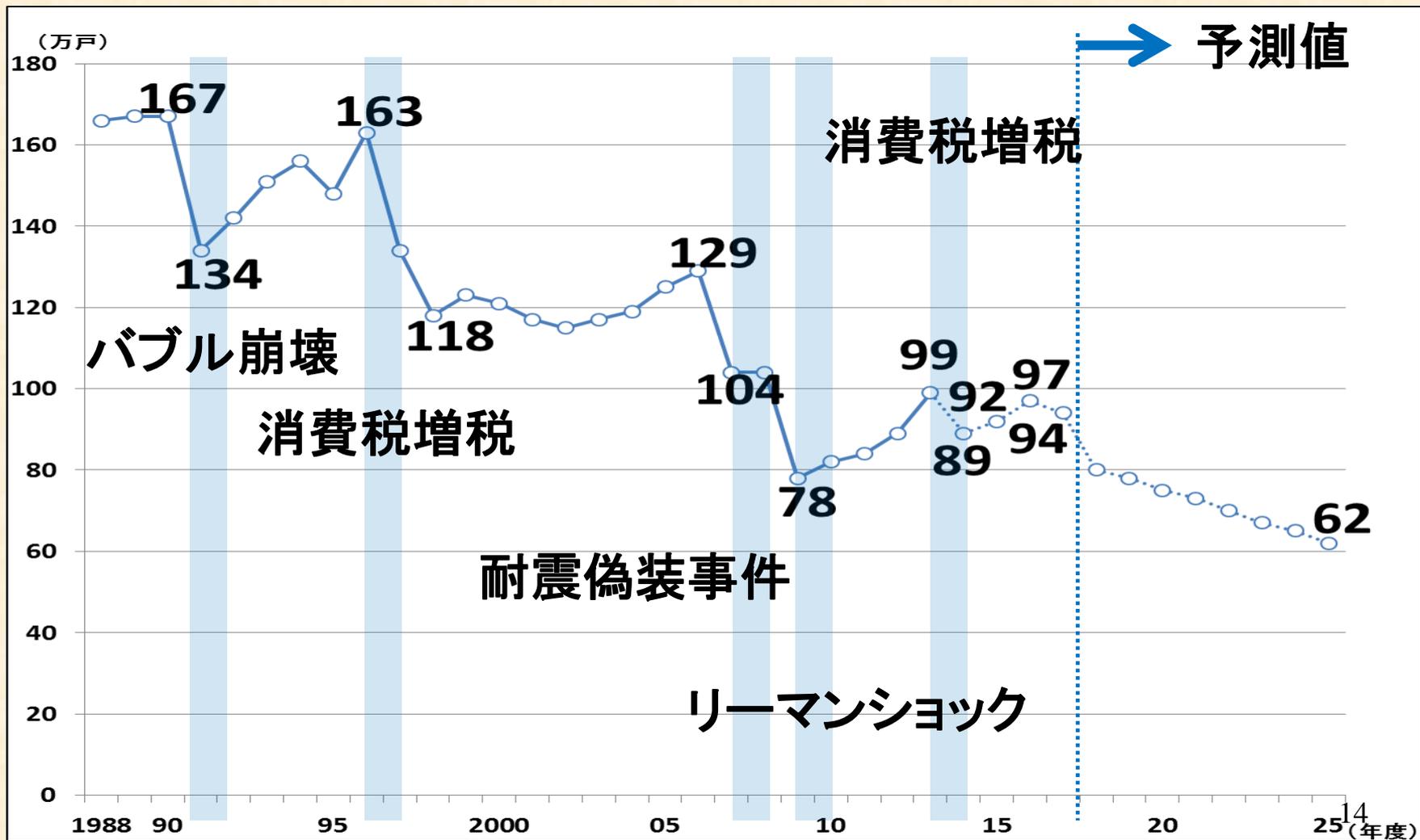
◆ 「北電石狩LNG基地NO4LNG貯槽増設工事」

(1) 打設時間：平成29年5月13日 午前7時～11時間

(2) 稼働ミキサ一車：220台(延べ2,300台)



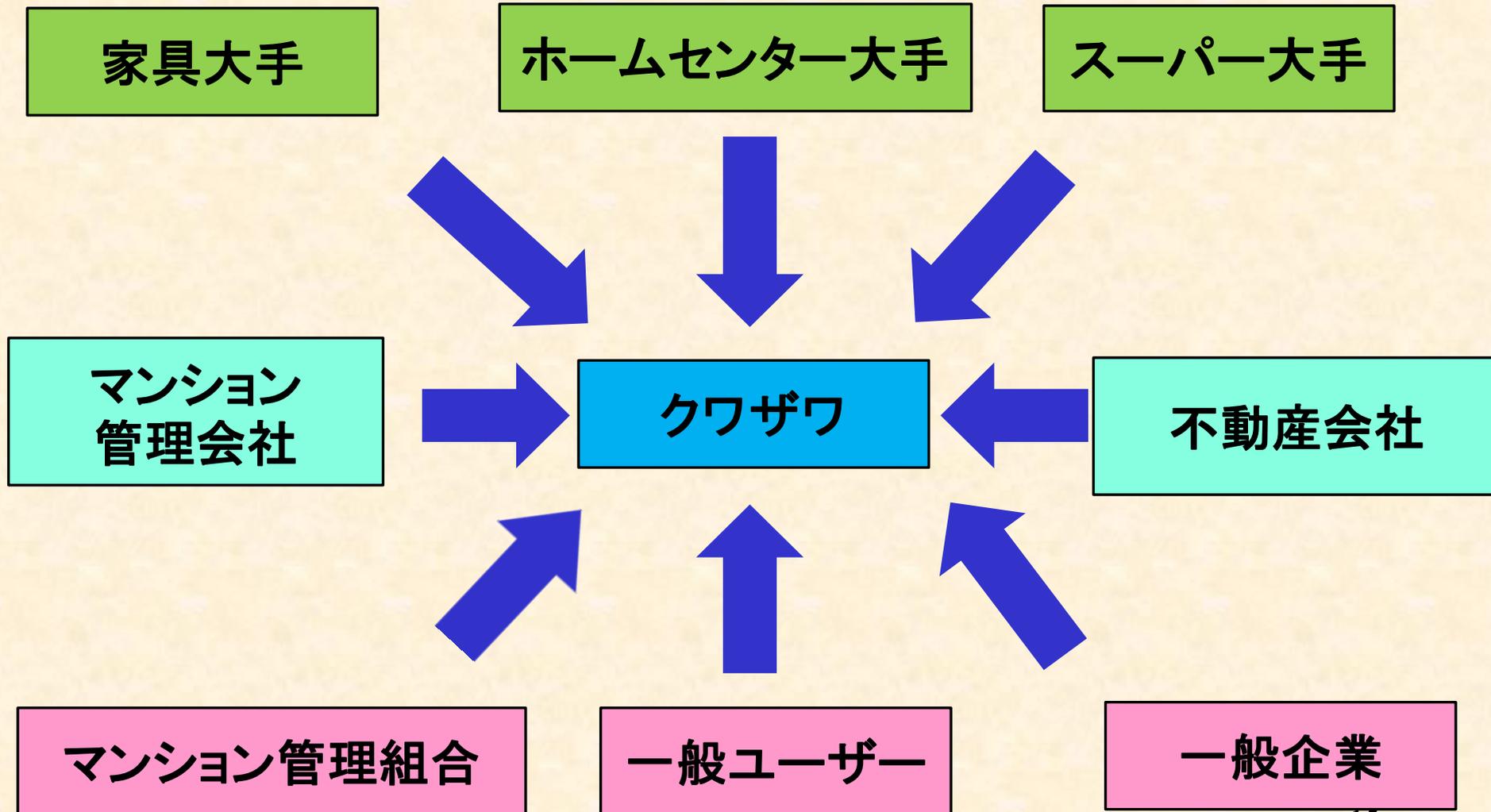
全国新設住宅着工戸数の推移



(資料) 野村総合研究所

「リフォーム事業」の拡大

◆リフォーム工事の「受注先」



「タイベック」の全国普及

「タイベック® ハウスラップ」の性能 「防水性」「強靭性」「透湿性」「防水耐久性」

防水

水に対しての優れた防水性



強度

手荒い扱いにも耐える強度

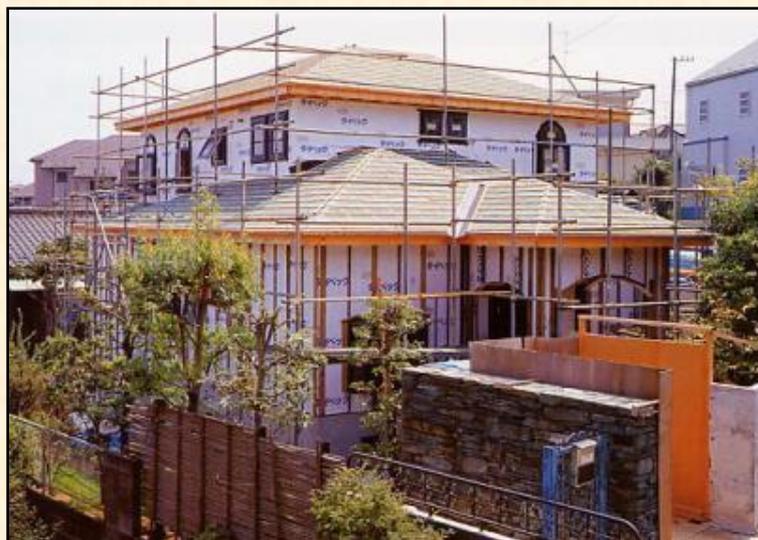


透湿

壁体内の水蒸気を放出する透湿性



「タイベック®」の施工現場



施工体制の拡大

資格取得者数(人)

1級建築士	13	1級管工事施工 管理技士	7
2級建築士	65	2級管工事施工 管理技士	7
1級建築施工管理技士	29	宅地建物取引主任者	44
2級建築施工管理技士	161	マンション管理士	1
第1種電気工事士	1	インテリア コーディネーター	6
第2種電気工事士	10	増改築相談員	8

施工体制の拡大

資格取得者数(人)

コンクリート診断士	2	給水装置工事主任 技術者	2
コンクリート主任技師	6	排水設備工事主任 技術者	3
コンクリート技士	23	ボイラー技士 1級・2級	5
1級土木施工管理技士	13	機密測定技能士	10
2級土木施工管理技士	42	福祉住環境 コーディネーター	7
2級ガラス施工技能士	4	ファイナンシャル プランナー	5
総合計	474		

施工体制の拡大

◆ クワザワグループの協力会社

2018年3月末現在

	安全衛生協力会会員数(社)
クワザワ	570
クワザワ工業	240
住まいのクワザワ	145
クワザワリフォームセンター	41
丸三商事	89
合 計	1,085

職方不足への対応

◆ クワザワグループの職方数

2018年3月末現在

	職方数(人)
クワザワ	1,784
クワザワ工業	660
住まいのクワザワ	270
丸三商事	100
光和	35
クワザワリフォームセンター	54
日桑建材	27
原木屋セーフティーステップ	46
合 計	2,976

- (1) 本社所在地 栃木県栃木市
つくばセンター開設(2017年3月)
- (2) 事業内容 仮設資材リース・組立
- (3) 専属職方 2016年5月 40人(ベトナム人2人)
2018年5月 48人
(ベトナム人6人・中国人7人)

◆足場部材の在庫ヤード



外国人労働者の増加

◆外国人労働者:

- ・「身分に基づく在留資格」 459万人
- ・「資格外活動」297万人 「特定活動」26万人
- ・「専門的・技術的分野の在留資格」238万人
- ・「技術実習」258万人

◆「技能実習生」の実習期間の延長

- ・「技能実習法」が2017年11月1日に施行
- ・従来の実習期間は「最長3年」
- ・今後の実習期間は「最長5年」となる

M&Aの活用

2003年3月 株式会社桑建設立

2003年5月 丸三商事株式会社の株式取得

2005年5月 株式会社エフケー・ツタイ設立

2005年10月 株式会社光和の株式取得

2005年12月 和寒コンクリート株式会社の株式取得

2005年12月 東日本自工株式会社の株式取得

2006年7月 株式会社建材社関東の事業譲受

2008年11月 日商岩井マテリアル株式会社の事業一部譲受

M&Aの活用

2011年7月 株式会社ニッケーの株式取得

2011年10月 株式会社サツイチの株式取得

2013年3月 余市レミコン株式会社の株式取得

2014年12月 株式会社建材社の株式取得

2016年4月 原木屋産業株式会社の株式取得

2016年4月 原木屋セーフティーステップ株式会社の株式取得

実例 友好的M&Aものがたり



継続的に地域社会へ貢献したい そんな思いがM&Aを決意させた



株式会社クワゾワ
代表取締役
大栗 秀雄

株式会社クワゾワ
代表取締役社長
桑澤 嘉英

原木屋産業株式会社 代表取締役 大栗 秀雄

1967年日産ブラス東京販売(株)に入社し、営業として自動車販売に従事する。1979年原木屋産業を株式会社とし、同社代表取締役兼社長に就任。1999年原木屋セーフティスタップ(株)を設立し、同社代表取締役兼社長に就任。「商売は信用が第一」の経営を軸に期間に業容を拡大する。本件M&A後は代表取締役として残り、引き続き同社のさらなる発展と円滑な承継を目指す。

株式会社クワゾワ 代表取締役社長 桑澤 嘉英

1976年東京海上火災(株)に入社。1981年父親の急逝にもめげない(株)クワゾワ入社。札幌支店支店長、東京本部部長などを経て1997年同社代表取締役社長に就任。社長就任後は主に北海道内の地産資材の販売、工事の請負施工、資材運送など、関連分野の企業に資本参加し順調に業容を拡大する。今回のM&A実施により、関東圏における商圏の拡大および10年先の構想であった足場事業へ意欲を果たす。今後は、原木屋産業と原木屋セーフティスタップとのシナジーを発揮し、北海道でのシェアNo.1と本州市場の拡大を目指す。



決心に、真心中こえろ。

03-6800-6080

後継者問題を解決し地元貢献を続けるための決断

—M&Aを検討するに至った経緯をお聞かせください。

■ 後継者不在、でも事業は畳めない

この原木屋産業を将来的にどうすべきなのかという命題には、いつも悩まされ続けていました。一般的には後継者を立てるといったパターンがありますが、身内には該当者がおらず、土地や建物は私たちが家族の所有となっているため、資産分厚の面から考えても社債の中から後継者を育てるのも現実的ではありません。これまで無借金経営でやってきたので、株式会社は存在させながら、少しずつ資産を売却していき、私たちが家族の生活だけを守っていくという手段も考えられなくはありません。しかし、ビジネスを畳んでいってしまったら、800社以上もあるお客様はどうなる?200社もある仕入れ先はどうなる?地元の金計事務所やガソリンスタンドなど経営のネットワークもなくなってしまいますし、中には親の代から付き合いのあるところもあります。そういった方々とのつながりがなくなってしまうと、皆さんにとって少なからずダメージを受けることとなります。そして何よりも社員、生活、今後の活躍の機会が失われてしまいます。さらには、ビジネス面だけでなく、これまで様々な地域活動や団体に参加し、地元のイベントにも毎年抽賞金のご協力をさせていただいてまいりましたし、地元のサッカーチームのスポンサーにもなっています。いずれもかなりの金額ではありますが、寄付をすることで本当に喜んでくださる方々がいる。これまで築き上げてきた、お休みの日になってきた方々との関係まで失ってしまうのかと、これからの原木屋を継承していくことになる方々の期待にお応えしなくてはならないのではと考えたのです。

—最終的にM&Aを決断されたのは、どのような理由だったのでしょうか。

■ しっかりした会社、熱心で誠意ある対応

正直言って、M&Aという言葉は嫌でした。必要だと思っ

たことはなかったし、他にも近頃はあろうと考えていました。しかし、実際に企業承継を考えなくてはならないタイミングに直面し、後継者問題や地元貢献を継続したいという思いなど様々な条件と併せて考えてみると、この選択が正しいように思えたのです。

M&Aを提案してくる会社は数社ありました。提示された契約事項を吟味し、当社の弁護士にも相談したところ、もともとM&Aキャビタパートナーズが提示した条件がフィットし、会社自体、しっかりしていると判断。営業担当者も熱心で、私たちの疑問に誠意をもってスピードに回答をくださった点に、私も家内も好印象を持ちました。

—M&Aが成立した時の率直な感想をお聞かせください。

■ これからどんどん良くなる

クワゾワは上場企業なので、様々な規定やコンプライアンスがしっかりしています。原木屋産業にも、私が決めてきた規則がありますが、それをガラッと変える必要があることに、私も社員も少々戸惑っています。中には、「これからどうなる?」と思っている社員もいるかもしれませんが、特に混乱はなく、ミーティングや会議、飲み会の場などで常に「これからどんどん良くなる」ということを伝えています。

せっかく、クワゾワというしっかりした上場企業と一緒にしたので、今まで通りではダメだと思っています。売り上げも利益も上げることができると確信しています。クワゾワに引き渡したいと、M&Aが成立した時点で、ただ見守るだけになる人も多いのですが、私はそれでは申し訳ないと思えました。手を放さなくないのですよ。ですからやるだけのことはいりません。あと5年という猶予をいただいたので、その限られた期間の中で、できる限り良い会社にして置きたいと思っています。そして社員もクワゾワと一緒にやってよかったと、そんな実感が持てるよう尽力していくつもりです。

本当に良い会社をお迎えすることができた

—ここからは、譲渡企業である株式会社クワゾワの桑澤社長を交え、お互いの印象や、M&Aを決断した理由、そして今後の展望について語っていただきました。

桑澤 真摯な姿勢で懇話に地足を一つ一つ踏査されてこられている印象を受けました。もちろん、財務諸表も拝見しても、常に数字と向き合っている経営をされていたということが明らかになりました。無難なことばかりではない大栗社長が、原木屋セーフティスタップという会社を作られたのは大きな決断ではなかったかと推測されます。それは原木屋産業という親会社があって、そこが磐石だからこそのことでしょう。きちんと計算されている、それでいて、非常に温厚な方でいらっしやいました。

大栗 桑澤社長と初めてお会いしたときに、誠実な方だと感じました。私どものいくつかの悩みがほっと受け止めていただいたことに感謝しています。



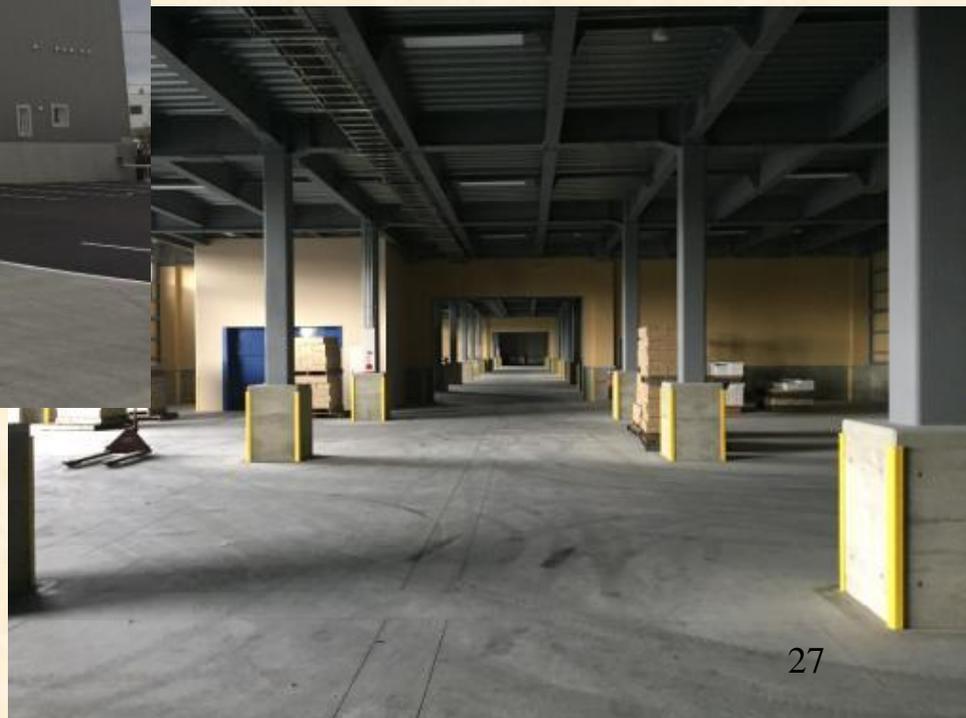
桑澤 ビジネス的にM&Aによるメリットは大きいと判断しました。特に子会社の原木屋セーフティスタップがやられている足場の事業は、実は私が12年前に手掛けたことではなかったが、幹部から反対を受けていたのです。当時はお客様も従業員もいない。材料もなくて3~4年は赤字ですといわれて、泣く泣く

株式会社サツイチ

【物流センター新築】
(2017年10月完成)



所在 大谷地流通センター
階数 2階建
延床面積 2,236坪



山光運輸株式会社

【物流センター新築】
(2017年10月完成)



所在 大谷地流通センター
階数 2階建
延床面積 923坪



新社屋建設

◆ 旧社屋(地上撮影)



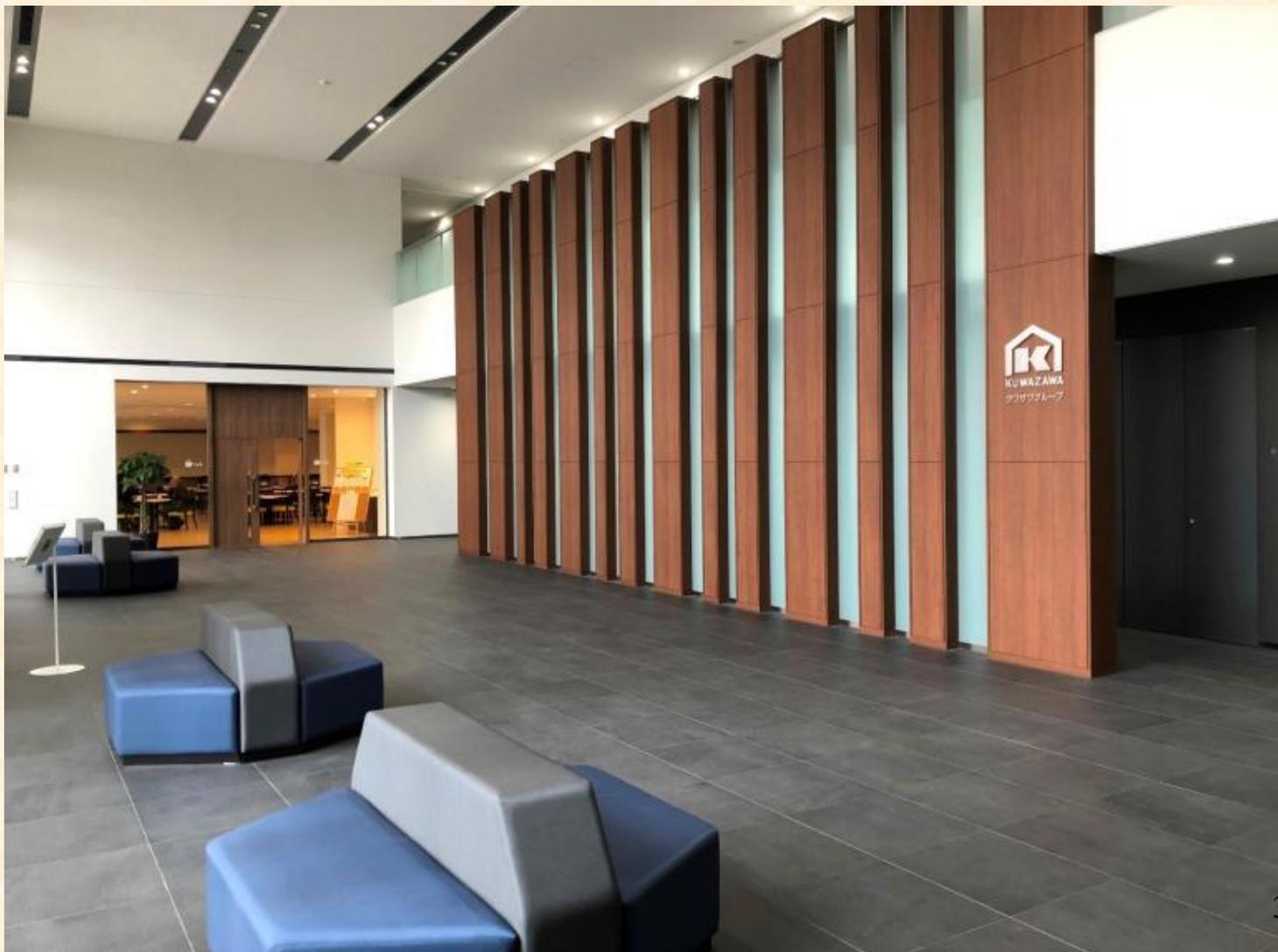
新社屋建設

◆ 新社屋外觀



新社屋建設

◆エントランス



新社屋建設

◆執務室



東京証券取引所市場第二部上場



開催日：2018年3月20日(火) 会場：「アローズオープンプラットフォーム」

株式分割の実施

- ◆ **対象株** 2018年6月30日現在の株主様が保有する普通株式
- ◆ **分割内容** 1株を2株に分割
- ◆ **目的** 投資単位当たりの金額を引き下げ株式の流動性の向上

配当金の推移

2016年3月期 10円

2017年3月期 10円

2018年3月期 12円(10円+記念2円)

株主優待 クオカード

2019年3月期
(株式分割後)

5円

株主優待 クオカード



「株式会社クワザワ」株価

クワザワ株価・出来高推移(2016/1/4~2018/5/21)



(*) 2018/3/19以前は札証終値・出来高、2018/3/20以降は東証終値・出来高にて当社作成

YOSAKOIソーラン祭り



平成22年 ファイナル 優秀賞

平成23年 セミファイナル 6位入賞

平成24年 敢闘賞

平成25年 ファイナル 優秀賞

平成26年 セミファイナル 優秀賞

平成27年 セミファイナル 優秀賞

平成28年 セミファイナル 優秀賞

平成29年 一次審査員賞



本日はご清聴ありがとうございます。
ございました。

深く御礼申し上げます。



本資料に掲載されている当社の業績、計画、戦略などの中には意見や将来の予測を含んでおります。これらは資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断を下されることはお控え頂きますようお願いするとともに、投資を行う際は投資家皆様ご自身の判断でなされるようお願いをいたします。